

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/27】

この試合のプレー集計

女子決勝戦

京都府選抜 17

5	—	2
1	—	2
6	—	5
5	—	4

13 富山県選抜

PSO

宇田川佑里子

審判:

塚本 龍一

京都府選抜	29	SH数	25	富山県選抜
	4	速攻数	1	
	20	ST・SB	11	
	11	SH・P誘発アシスト	8	
	28%	GK阻止率	11%	
14	EX反則数	9		

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

女子決勝戦は大会前からのこの2強対決が予想され、順当に駒を進めて決勝の舞台で相まみえることになった。昨年の今大会では京都が勝利したが、富山の素晴らしいディフェンスが機能し、互角に渡り合っただけに今回は富山のリベンジと初優勝への期待も高まる。富山は前回の経験者がほぼ残っており、セオリー通りのディフェンスで京都をどこまで追い詰められるか。この世代の女子水球としてはハイレベルな攻防が繰り広げられるだろう。

【1P】

京都はセンターボールからの攻撃でエース⑥大前が先制点をマークし、優勢に試合を動かす。富山の退水攻撃も京都⑥大前がインターセプト、そこから右サイドを泳いでペナルティを誘発。Pシュートは決まらなかったがこぼれ球を決めて2点目。続けて富山の攻撃をブレイクして、京都⑩吉田が右サイドから決めて一気に3点。富山は立て直しのためにタイムアウト。まずは攻撃時にパスが回ることに先決だ。しかし、ここでも京都にボールを支配され、⑥大前が前に泳いで4点目をゲット。ようやく富山は本来のプレスディフェンスが出て、そこで退水を誘発して②飯塚が決めて1点を返す。その後、少し動きの良くなった富山はゴール前に攻め込んで③石川がペナルティを誘発して2点目。試合への入り方で失敗した富山。京都5-2富山で第1ピリオド終了。今後、どう立て直してくるか。

【2P】

京都のセンター攻撃を守った富山が、京都ゴール前に泳ぎ込み、⑤山下からタイミングよく②飯塚へラストパス。そこでペナルティを誘発して点差を詰めた。しかし、京都も③山本が体格を生かしたシュートを決めて引き離しにかかる。富山は京都のセンター攻撃を防いで、右からゴール前に泳いで⑥山口がペナルティを誘発して点差を詰めた。富山はチャンスになるとゴール前に泳ぎ込む形が次々に生まれており、京都はその動き出しへの対応がやや緩慢。さらに富山の右展開時へのプレッシャーが弱いのも気がかり。京都はペナルティを得たが、シュートが決まらず、このピリオドは京都1-2富山となり。京都7-4富山の3点差で前半を折り返した。

【3P】

富山②飯塚が敵陣深い位置で退水を誘発して③石川が決めて1点差。さらに富山は積極的に泳いで退水を誘発。③石川が決めてとうとう同点に。この時点で京都エースの⑥大前は2ファウル。京都のシュートミスから富山が泳いで、が決めて逆転。京都も退水を誘発して⑩高木が決めて同点。富山は②飯塚がマークされながらも左サイドから決めてリードを奪ったが、直後に京都攻撃でペナルティ。これで②飯塚が3ファウル。京都は同点に追いつくと同時に富山のエースを不在にすると、その後はどんどん攻め込み、エース⑥大前の3得点などで富山を引き離した。最後は富山がペナルティで1点を取り返して第3ピリオド終了(京都12-9富山)。ただし、京都側もエース⑥大前が3ファウルとなり、両チームともにエース不在の状態最終ピリオドへ。

【4P】

京都センター⑩園が均衡を破るシュートを決めて4点差にするが、富山もすかさず1点を返す。その後双方にチャンスがあったが、富山が2点差に迫るシュートを決めた直後、京都も取り返して再び3点差。京都のプレスディフェンスが富山を上回わり、ボールを奪ってからゴール前でペナルティを誘発して4点差に広げ、安全圏に。富山もペナルティで追撃するが、連続得点には至らない。最終的に京都7-13富山で、京都が連覇を果たした。富山としては、第1ピリオドの試合の入り方ミスが最後まで響いてしまった形。さらに、昨年ほどの動き続けるプレスディフェンスがやや影を潜めていて、今大会を通じて失点の多さが攻撃力のある京都に及ばなかった原因であろう。